



2021 RACE REPORT

GAZOO Racing 86/BRZ Race 第1戦

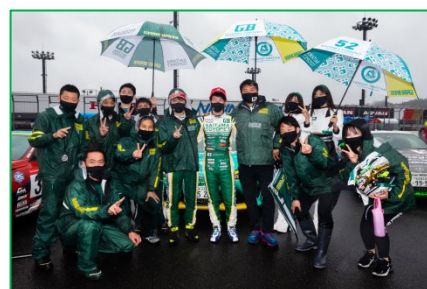
2021年3月20日(土)～21日(日)

ツインリンクもてぎ(栃木県茂木町)

プロフェッショナルシリーズ

川合選手2位表彰台、吉田選手6位。ダブル入賞を達成

プロフェッショナルシリーズのエントリー台数は31台。予選日の天候は曇り。金曜日の専有走行では川合選手が2位、吉田選手が6位のタイムをマークしており、本番での上位進出に期待が高まります。川合選手は予選開始早々にコースイン。2周目に2分16秒776をマークし、2位につけます。しかし、セッション後半にアタックした複数の選手が川合選手のタイムを上回ったため、正式結果は5位。吉田選手は残り約7分でコースに入り、2周目に2分16秒867をマーク。川合選手のすぐ後ろ、6位につけました。2台そろってトップ6に入る順調な滑り出し。事前テストを積極的に行い、データを蓄積してきた成果が出ています。



決勝日の天候は雨。本降りではあるものの、レース開催ができないほどのレベルではなく、決勝レース(10周)は予定通りにスタート。5番グリッドの川合選手、6番グリッドの吉田選手ともにやや出遅れたように見えたものの、うまくリカバリー。川合選手が3位、吉田選手が6位でホームストレートに戻ってきます。川合選手は事前テストで雨のもてぎを経験しており、そのアドバンテージをいかに発揮。上位2台との差を徐々に詰めていきます。5周目に#98 近藤選手を抜き2位に上がりますが、コースアウトするシーンもあり、緊迫したレースが続きます。7周目に#34 佐々木選手を抜きトップへ。しかし、3台による僅差のバトルは続いており、翌周には再び2位となります。#34 佐々木選手を必死に追う川合選手ですが、#98 近藤選手の追い上げにあい、勝負はここまで。0.907秒差の2位でチェッカーを受けました。一方、吉田選手は2周目に1つ順位を上げ5位を走行しますが、5周目にコースアウト。7位に順位を下げます。吉田選手は翌周に1つ順位を上げ、6位でチェッカー。両選手ともに悔しい結果となりましたが、川合選手にとっては昨年の開幕戦以来の表彰台、吉田選手にとっては昨年の第8戦以来の入賞です。



#160
埼玉トヨペット GB 86 BS
吉田 広樹
決勝：6位
予選：6位(2分16秒867)

■予選後：今週このあたりの順位をうろうろしていて、明日は雨予報なので、同じタイヤを履くライバルの前にかかれるのが嫌だと思っていたら、実際何人か前にいってしまいました。悪くはないけど、良くもないかなと思っています。このもてぎで去年、あまりいい思いがなかった分、今年はいいスタートがきれたらと思います。

■決勝後：思い出したくないぐらいの内容でした。スタートから出遅れ、ある程度落ち着いた時、6位ぐらいでした。4位か5位まで順位が上がったところで1コーナーで飛び出し、6位で復帰し、そのまま終わりました。埼玉トヨペットとして次の富士に挑めるのは楽しみです。しっかりテストを重ねて優勝争いしたいと思っています。



#521
埼玉トヨペット GB 86 BS
川合 孝汰
決勝：2位
予選：5位(2分16秒776)

■予選後：事前テストの結果を受けて、やってみようというセットアップを試してみたら、思ったより悪い方向に行ってしまった。結局リセットして、金曜日クルマの状態も良くなって、土曜日を迎えたのですが、もうちょっといきたくったのが正直な気持ちです。最低目標のトップ5にはいけたのでとりあえず良かったと思います。

■決勝後：ちょっと出遅れてしまったんですが、他メーカーのタイヤを履いた選手が苦しんでいるので、4位で帰ってこられました。そこから3位に上り、トップ集団を追いかけました。あまりにも舞い上がり過ぎてしまって、一緒に戦った先輩にも迷惑をかけてしまいました。自分の弱さが出て暴れてしまったレースだと思います。

店舗メカニック

大畑一哉(川越西支店)

モータースポーツが大好きで、サーキットに足を運んでいます。メカニックとしてレースをやりたいという気持ちがあり、埼玉トヨペットに入社しました。極限の状況で整備しなければならないので、小さなねじひとつでも緩んでいてもダメな世界。神経をとがらせて、クルマを整備するので、気を遣うことと学ぶことが多かったです。



■ ■ ■ ニューフェイス地頭所選手、圧巻のデビューウィン ■ ■ ■

86GB キャンプにフル参戦するのは地頭所 光（おとうしょ・ひかる）選手。東京大学の大学院に通いながら、モータースポーツに打ち込んでいるアマチュアレーサーです。86GB キャンプに応募したきっかけについて地頭所選手は「吉田選手のツイッターで86GB キャンプのことを知りました。これまでEV レースやスーパーFJ などのレースに参加してきましたが、86/BRZ レースに参加したいと思っていたので、86GB キャンプを見つけられて良かったです」と語っています。



予選日の天候は曇り。地頭所選手は予選開始2分前の合図とともにピットロードに並び、先頭でコースイン。2周目からアタックを開始します。地頭所選手は前日の専有走行のタイムをコンマ5秒以上上回る2分18秒556をマーク。予選3位を獲得し、決勝に向け大きな手応えをつかみました。日曜日の天候は雨。チームは地頭所選手と行った事前テストで雨用セッティングの確認を行っており、自信を持って地頭所選手を送り出します。地頭所選手はアウト側、3番グリッドからスタート。イン側のラインを通りながら1コーナーに進入します。地頭所選手は落ち着いて混戦を切り抜け、2位でオープニングラップを終了。トップの#703 花里選手との差は周回毎に詰まっており、3周目にはコンマ5秒以下まで接近します。地頭所選手は5周目の3~4コーナーで#703 花里選手をパス。トップに立つと、2位以下との差をみるみるうちに広げて独走。なんと10秒356の-marginを築いてチェッカーを受け、デビューウィンという快挙を成し遂げました。



#522 GB CAMP 86
地頭所 光
決勝：1位
予選：3位 (2分18秒556)

■予選後
開幕戦でここまで来られるとは正直思っていませんでした。レースウィーク入りから調子が良くて、吉田選手と川合選手にみっちり指導してもらいながら、走りに磨きをかけ、この順位に到達できたと思っています。先週の土日にウェットテストができたので、雨のもてぎは大丈夫だと思いますが、スピンせず、ミスなく完走できたらと思います。

■決勝後
優勝でき、本当にびっくりしています。1週間前に初めて86に乗って、まさかてっぺんとれるとは思っていませんでした。とってもうれしいです。先週、初めて86に乗った日が雨でした。そこでチームがタイヤのエアを決めたり、足まわりのプリロードを考えてくれたので、ぼくはその数値を信じて走ることができました。そのセットのおかげだったと感じています。

PARTNERS



株式会社アイ・ディ・アイ



EMG ルブリカンツ合同会社



株式会社エヌ・ティ・コーポレーション



株式会社 FM NACK5



大宮クリーン社・大進カーエアコン



株式会社岡崎巧芸



株式会社カーグラス・JP



琦群スリーボンド株式会社

埼玉トヨペットホールディングス株式会社

埼玉トヨペットホールディングス株式会社



株式会社テレビ埼玉



株式会社デンソーソリューション

UNDER ARMOUR®

株式会社ドーム

トヨタ モビリティパーツ株式会社

トヨタモビリティパーツ株式会社

ハッピーライフ彩生

株式会社ハッピーライフ彩生

BRIDGESTONE

株式会社ブリヂストン

丸和工業

丸和工業株式会社



株式会社リビコー



レカロ株式会社